



消防庁では、火災の発生しやすい時季を迎えるにあたり、国民一人ひとりの防火意識を高め、火災の発生を防止するため、『秋季全国火災予防運動』を11月9日(日)から15日(土)に実施します。

住宅用火災警報器の寿命は、約10年が目安です。この期間に住宅用火災警報器を点検し、故障・老朽化した機器は交換しましょう。



◎実施期間

11月9日(日)から11月15日(土)までの7日間

◎全国統一防火標語

2025年度 『急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし』

◎住宅防火 いのちを守る 10のポイント —4つの習慣・6つの対策—

・4つの習慣

- 1 寝たばこは絶対にしない、させない。
- 2 ストープの周りに燃えやすいものを置かない。
- 3 コンロを使うときは火のそばを離れない。
- 4 コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

・6つの対策

- 1 火災の発生を防ぐために、ストーブやコンロ等は安全装置の付いた機器を使用する。
- 2 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- 3 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する。
- 4 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
- 5 お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- 6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

